

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ハミングツリー		令和8年1月31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	指導訓練室の面積が54㎡あり療育内容によってスペースをアレンジしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	10	0	基準人員数より多くのスタッフを配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	指導訓練室の面積が54㎡あり療育内容によってスペースをアレンジできる。洗面所入口を除きバリアフリーとなっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	活動内容によって 仕切りなどで空間をわけられる。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	必要に応じて相談室、学習室を使用している。足りない場合は仕切り等でスペースを作る。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	0	定期的な会議を開催し、対応している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	保護者会の開催や、児童の引き渡しの際に報告や意向を把握する時間がある。	職員会議の際に保護者向け評価表も活用をしていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	職員会議や業務改善会議の際に意見等を把握する機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	7		現在第三者による外部評価を検討中。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	研修が受けられるようスケジュール管理されている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	1	支援計画書は少なくとも2回/年作成している。	5領域を含めた支援計画書フォーマットは3月にHP上に公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0	相談支援事務所をはじめ関係機関と会議の上作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	基本的に常勤職員参加のもと検討を行い計画書を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	上記で作成した計画書は職員会議、口頭または回覧により周知している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	標準のアセスメントフォーマットを利用しているが、必要に応じ家族構成などいくつかの点で改良している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	ガイドラインに沿った支援内容も踏まえ作成している。	**5領域とは、①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	活動プログラムは全体会議で立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	いくつものプログラムを用意してあり固定化しないようにしている。新しいプログラムについては事前に会議で相談/決定する。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	標準のアセスメントフォーマットを利用しているが、必要に応じ家族構成などいくつかの点で改良している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	朝のミーティング時に細かく確認し連携を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	翌日開始時のミーティングにメモにて連絡/共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	毎日の記録にスタッフが目を通し、検証/改善を考え、会議時に検討していく。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10	0	会議で決めた基本活動をもとに組み合わせ支援をしている。	* * 自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供の4つ
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	支援計画書の作成時は子供の自己選択や意向を確認している。日常でも子供の意向を聞くなどしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	基本的には児童発達支援管理責任者もしくはチーム担当者が出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	5	主に担当者会議の内容により各関係機関と連携をしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0	保護者から学校の年間計画・行事予定表を入手している。送迎時トラブルなどは直接連絡を取っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	0	アセス時など、必要に応じて行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	0	まだ具合的事案がないが、移行する場合は情報提供を保護者の同意の基行う体制がある。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	0	相談事務所や区の研修に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10	0	一月に一度放デイのミーティングに参加している。	児童館職員が「実際の活動状況」を見学したいとの申し出等を受け入れている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	0	案内の合ったものは極力参加するようにしている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	面談や児童の送迎時に行っている。	送迎時に保護者と意見をもった時は必ず内勤スタッフへ伝えるようにする。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	1	相談事務所と相談の上実行もする。	希望する保護者が少なく、こちらから積極的に案内するのは難しい面がある。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	利用初回時および変更時となるが、説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	保護者会や送迎時等に確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0	内容を確認していただき、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	随時保護者からの相談を受け付けている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	2	父母会の支援や開催は難しく、保護者参加のレクリエーション開催に留まっている。	交流を目的とした保護者会は事前にアンケート等でチェックし、希望する保護者を集め開催する等を検討する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	苦情について、体制を整備し、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応出来るよう研修している。	苦情受付の体制は出来ている。連絡があれば迅速かつ適切に対応する。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	1	定期的な会報は行っていないが、HPや送迎時に案内書類や口頭で発信している。	今後はSNSを活用したほうほうを検討していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	シュレッダーの使用、また事業所外での個人情報の話はしないよう常に注意を促している。	連絡帳を他の児童へ渡してしまった事案があった。細心の注意を払い扱うこと。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	障害のある児童や保護者の方との接し方/話し方等を含め研修の機会を設けている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	7		地域住民イベント告知などは積極的には行っていない。今後は外に掲示する等して招待をはかりたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	職員には各周知している。また保護者には契約時にしているが変更時などの周知はしていない。	各マニュアルを作成/対応していることを写真撮影し、保護者にも周知していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	定められた期間に定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	利用日前日に該当児童の注意を促している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	食物その他のアレルギーや服薬などに関しては当日の連絡帳と口頭指示の2本立てとしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0	安全計画に基づく取り組み内容を掲示し家族等へ周知している。	HPにて公開もしている
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	ヒヤリハットがあるたびに情報を共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	虐待を防止するため、職員の委員会や研修機会を確保している。	安全管理記載の日程で行っている
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0	身体拘束に関して職員の委員会や研修を行い、必要な児童保護者に事前に説明し了解を得ている。	初回利用時に説明しているが予期できる時には事前に再度説明を行う。